

「国際画像機器展 2020」に出展しました

～ISP 独自技術を用いた AI ソリューション～

12 月 2 日(水)～12 月 4 日(金)にパシフィコ横浜で開催された「国際画像機器展 2019」にて企業出展を行いました。たくさんのご来場、誠にありがとうございました。

当日は、以下のプロダクトを展示にてご紹介いたしました。

- ・製造業向け外観検査ソフトウェア『gLupe』
- ・コンクリートのひび割れ検出エンジン『ひびここ』
- ・AI×ロボティクス『エッジ AI ソリューション』
- ・AI 映像解析ライブラリ『ISP Vision Library』



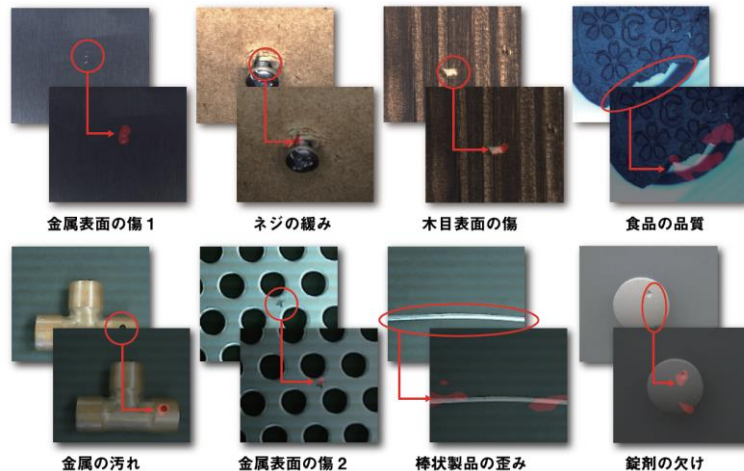
出展ブースの様子です。

当日はたくさんの方にお立ち寄りいただきました！

● 製造業向け外観検査ソフトウェア **gLupe**

数枚のデータから AI 構築が可能

Deep Learning を応用した外観検査用ソフトウェア「gLupe（ジールーペ）」。その最大の特徴は、少量の正常データのみで学ぶことです。数枚のデータから AI を構築できるため、機械学習によるアプローチで最大の障壁となる膨大なデータの収集とラベル付けが不要であり、導入コストを大幅に抑えることができます。導入後も生産現場にて追加学習を行うことで、さらなる精度向上や新製品への対応も可能です。



製造業向け外観検査ソフトウェア『gLupe』の製品サイトはこちら

<https://glupe.jp/>

● コンクリートのひび割れ検出エンジン **ひびここ**

インフラ劣化検査を強力サポート、コスト・負荷を削減

コンクリート構造物等の撮影画像から、ひび割れ検出を実現するための学習機能を持った解析ソフトウェアです。使用する環境や用途に合わせてカスタマイズを行うことができるため、柔軟な対応が可能です。カスタマイズには新規の学習が必要となりますが、「ひびここ」は少量のデータからイテレーティブにひび割れの検出精度を向上させることができます。



コンクリートのひび割れ検出エンジン『ひびここ』の製品サイトはこちら

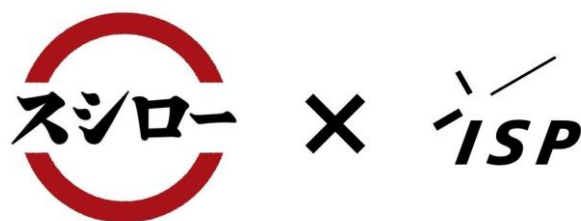
<https://www.hibikoko.com/>

● AI×ロボティクス エッジAIソリューション

従来手法では実現が困難な業務自動化をエッジAIで実現

深層学習／画像処理技術を活用し、ルール化しにくいノウハウをビジネスロジックに昇華し、コンパクトなハードウェアに封じ込めたパッケージを実現します。カスタマイズした画像認識AIとGPUによる高速な画像処理によるリアルタイム処理を、現場に設置可能なオリジナルAI端末で実現します。現場運用と共に育つシステムを構築できます。

エッジAIソリューションは事例として、株式会社あきんどスシロー様の実店舗に「自動会計システム」として導入いただいています。



プレスリリース：AIにより回転すし会計の自動化を実現

<http://staging.isp.co.jp/archives/NewsRelease-isp-20201202.pdf>

● AI映像解析ライブラリより 在庫管理省力化システム

AIが帳票・ラベルを自動解析

帳票自動解析を利用した納品管理を、納品書を撮影するだけで実現できます。また、商品のラベルを撮影するだけで自動検品を行えるシステムの構築も可能となります。



AI映像解析ライブラリ『ISP Vision Library』 製品サイトはこちら

<https://isp-vision.jp>

● 関連リンク

- ・ 国際画像機器展 公式サイト

<https://www.adcom-media.co.jp/ite/>

- ・ システム計画研究所 人工知能事業 プロダクト・サービス

<https://www.isp.co.jp/products/ai/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

展示物、出展内容に関するお問い合わせは、以下より受け付けております。

Tel : 03-4589-0232

Mail : ai-contact@isp.co.jp